



CSACS-1121 を使用した Cisco Secure Access Control System のインストールと設定

この章では、CSACS-1121 と ACS 5.8 サーバをインストールおよび初期設定する方法について説明します。

- [CSACS-1121 シリーズ アプライアンスを使用したインストール、1 ページ](#)
- [Cisco Secure ACS 5.8 ISO イメージのダウンロード、2 ページ](#)
- [ACS サーバのインストール、2 ページ](#)
- [管理者パスワードのリセット、5 ページ](#)
- [ACS サーバの再イメージ化、6 ページ](#)

CSACS-1121 シリーズ アプライアンスを使用したインストール

CSACS-1121 アプライアンスには、ACS 5.8 ソフトウェアがあらかじめインストールされています。ここでは、インストールプロセスの概要と、ACS をインストールする前に実行する必要がある作業について説明します。

ACS 5.8 のインストールを開始する前に、次の作業を実行する必要があります。

1. 箱を開けて内容を確認します。[開梱と出荷内容の確認、9 ページ](#)を参照してください。
2. [Cisco 1121 Secure Access Control System](#) ハードウェアの導入、1 ページを読みます。
3. [Cisco 1121 Secure Access Control System](#) ハードウェアの設置準備、1 ページにある、一般的な注意事項と安全に関する警告を読みます。
4. アプライアンスをラックに取り付けます。[Cisco 1121 Secure Access Control System](#) ハードウェアの設置、1 ページを参照してください。
5. CSACS-1121 をネットワークとアプライアンス コンソールに接続します。[ケーブルの接続、7 ページ](#)を参照してください。
6. CSACS-1121 アプライアンスの電源をオンにします。[CSACS-1121 シリーズ アプライアンスの電源投入、18 ページ](#)を参照してください。
7. CLI プロンプトで **setup** コマンドを実行し、ACS サーバの初期設定を行います。[セットアッププログラムの実行、2 ページ](#)を参照してください。

Cisco Secure ACS 5.8 ISO イメージのダウンロード

Cisco.com から Cisco Secure ACS 5.8 ISO イメージをダウンロードできます。

1. <http://www.cisco.com/go/acs> にアクセスします。このリンクにアクセスするには、有効な Cisco.com ログイン クレデンシャルを所有している必要があります。
2. [\[Download Software\]](#) をクリックします。

ACS サーバのインストール

Cisco.com ページに Cisco Secure ACS リリース 5.8 ソフトウェア イメージが表示されます。インストールおよび初期設定が完了したら、すべての Cisco ACS サービスのテストを実行できます。

注: ACS 5.x ソフトウェア イメージを Cisco.com からダウンロードできるのは、以前のバージョンの ACS 5.x ソフトウェアについて有効な Software Application Support (SAS) 契約を結んでいる場合だけです。以前のバージョンで有効な SAS 契約を結んでいない場合は、Cisco.com のソフトウェア イメージを特定のカスタマー アカウントに公開するには、販売エンジニア (SE)、アカウント マネージャ (AM)、またはシスコ パートナーにお問い合わせください。

ACS サーバのインストール

ここでは、CSACS-1121 シリーズ アプライアンスに ACS をインストールする方法について説明します。

この項の構成は、次のとおりです。

- [セットアッププログラムの実行、2 ページ](#)
- [インストールプロセスの確認、5 ページ](#)

セットアッププログラムの実行

ここでは、ACS サーバをインストールするためのセットアッププロセスについて説明します。

セットアッププログラムでは、必要なパラメータの入力を求める、対話型のコマンドライン インターフェイス (CLI) が起動されます。

管理者は、コンソールまたはダム端末とセットアッププログラムを使用して、ACS 5.8 サーバの初期ネットワークを設定し、初期管理者資格情報を設定します。セットアッププロセスは一度だけ実行する設定作業です。

ACS サーバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. アプライアンスの電源をオンにします。

次のセットアップ プロンプトが表示されます。

```
Please type 'setup' to configure the appliance
localhost login:
```

2. ログイン プロンプトで **setup** と入力し、Enter を押します。

コンソールにパラメータのセットが表示されます。[表 1 \(3 ページ\)](#) の説明に従ってパラメータを入力します。

注: セットアッププロセスは、最後のセットアップ値を入力する前に、Ctrl を押した状態で C を押すことによりいつでも中断できます。

表 1 ネットワーク設定パラメータ

プロンプト	デフォルト	条件	説明
ホスト名 (Host Name)	<i>localhost</i>	最初の文字は ASCII 文字でなければなりません。 長さは 3 ～ 15 文字である必要があります。 有効な文字は、英数字 (A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9) とハイフン (-) で、最初の文字はアルファベットでなければなりません。 注: AD ID ストアを使用し、同じ名前のプレフィックスで複数の ACS インスタンスを設定する場合は、ホスト名として最大 15 文字を使用して AD 機能が影響を受けないようにします。	ホスト名を入力します。
IPv4 IP Address	なし。ネットワーク固有	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の範囲の有効な IPv4 アドレスでなければなりません。	IP アドレスを入力します。
IPv4 Netmask	なし。ネットワーク固有	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の範囲の有効な IPv4 アドレスでなければなりません。	有効なネットマスクを入力します。
IPv4 Gateway	なし。ネットワーク固有	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の範囲の有効な IPv4 アドレスでなければなりません。	有効なデフォルトゲートウェイを入力します。
Domain Name	なし。ネットワーク固有	IP アドレスは入力できません。 有効な文字は、ASCII 文字、数値、ハイフン (-)、およびピリオド (.) です。	ドメイン名を入力します。
IPv4 Primary Name Server Address	なし。ネットワーク固有	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の範囲の有効な IPv4 アドレスでなければなりません。	有効なネームサーバアドレスを入力します。
Add another nameserver	なし。ネットワーク固有	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の範囲の有効な IPv4 アドレスでなければなりません。 注: ACS CLI から最大 3 つのネームサーバを設定できます。	複数のネームサーバを設定するには、 y と入力します。
NTP Server	<i>time.nist.gov</i>	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 の範囲の有効な IPv4 アドレス、またはドメインネームサーバにする必要があります。 注: ACS CLI から最大 3 つの NTP サーバを設定できます。	有効なドメインネームサーバまたは IPv4 アドレスを入力します。
Timezone	UTC	有効なローカルタイムゾーンでなければなりません。	有効なタイムゾーンを入力します。
SSH Service	なし。ネットワーク固有	なし	SSH サービスを有効にするには、 y と入力します。
Username	<i>admin</i>	最初の管理ユーザの名前です。デフォルトを受け入れるか、新しいユーザ名を入力します。 ユーザ名は 3 ～ 8 文字の英数字 (A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9) でなくてはなりません。	ユーザ名を入力します。

表 1 ネットワーク設定パラメータ (続き)

プロンプト	デフォルト	条件	説明
Admin Password	なし	<p>デフォルトのパスワードはありません。パスワードを入力します。</p> <p>パスワードは最低 6 文字で、小文字、大文字、数字がそれぞれ 1 つ以上含まれている必要があります。</p> <p>また、次の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 初期設定で設定したアカウントのユーザとパスワードの情報は大切に保管してください。 ■ これらの資格情報を使用すると、ACS ハードウェア、CLI、アプリケーションを管理者として完全に制御できるため、忘れないようにして保護します。 ■ 管理者の資格情報をなくした場合は、ACS 5.8 の Installation and Recovery DVD を使用してパスワードをリセットできます。 	パスワードを入力します。

コンソールで、次のパラメータを入力するよう求められます。

```
localhost login: setup
Enter hostname[: acs-server-1
Enter IP address[: a.b.c.d
Enter IP default netmask[: 255.255.255.255
Enter IP default gateway[: a.b.c.d
Enter default DNS domain[: mycompany.com
Enter primary nameserver[: a.b.c.d
Add secondary nameserver? Y/N : n
Add primary NTP server [time.nist.gov]: a.b.c.d
Add secondary NTP server? Y/N : n
Enter system timezone[UTC] :
Enable SSH service? Y/N [N] : y
Enter username [admin]: admin
Enter password:
Enter password again:
Pinging the gateway...
Pinging the primary nameserver...
Do not use `Ctrl-C' from this point on...
Appliance is configured
Installing applications...
Installing acs...
Generating configuration...
Rebooting...
```

ACS サーバのインストールが完了すると、システムは自動的に再起動します。

この時点で、セットアッププロセスで設定した CLI ユーザ名とパスワードを使用して ACS にログインできるようになります。

注: このユーザ名とパスワードを使用して ACS にログインできるのは、CLI を通じてだけです。

注: ACS 5.8 の初期設定では、サーバに IPv4 アドレスを設定する必要があります。初期設定の完了後でないと、サーバの IPv6 IP アドレスを設定できません。

注: ACS 5.8 は、IPv4 と IPv6 のデュアルスタック ネットワーキングをサポートし、純粋な IPv6 ネットワークをサポートしていません。

インストールプロセスの確認

インストールプロセスが正しく完了したことを確認するには、次の手順を実行します。

1. システムが再起動したら、ログインプロンプトでセットアップ時に設定したユーザ名を入力し、**Enter** を押します。
2. パスワードプロンプトで、セットアップ時に設定したパスワードを入力し、**Enter** を押します。
3. アプリケーションが適切にインストールされていることを確認するために、**show application** と入力し、**Enter** を押します。

コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
<name>          <Description>
acs Cisco Secure Access Control System 5.8
```

4. システムプロンプトでインストールされているリリースと ACS のバージョンを確認するため、システムプロンプトで **show application version acs** と入力して **Enter** を押します。

コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
Cisco ACS VERSION INFORMATION
-----

Version: 5.8.0.32
Internal Build ID: B.442
```

注: このリリースの別のバージョンでは、[Version] と [Internal Build ID] が変更されている場合があります。

5. ACS プロセスのステータスを確認するために、システムプロンプトで **show application status acs** と入力し、**Enter** を押します。

コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
ACS role: PRIMARY
Process 'database'          running
Process 'management'      running
Process 'runtime'         running
Process 'ntpd'             running
Process 'adclient'        running
Process 'view-database'    running
Process 'view-jobmanager'  running
Process 'view-alertmanager' running
Process 'view-collector'   running
Process 'view-logprocessor' running
```

注: 最新の ACS パッチを入手し ACS を最新に保つには、<http://software.cisco.com/download/navigator.html?i=rt> を参照してください。

管理者パスワードのリセット

管理者パスワードを失ったためにシステムにログインできない場合は、ACS 5.8 Recovery DVD を使用して管理者パスワードをリセットできます。

管理者パスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

1. アプライアンスの電源をオンにします。
2. ACS 5.8 Recovery DVD を挿入します。

ACS サーバの再イメージ化

コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
Welcome to Cisco Secure ACS 5.8 Recovery
To boot from hard disk press <Enter>
Available boot options:
[1] Cisco Secure ACS 5.8 Installation (Keyboard/Monitor)
[2] Cisco Secure ACS 5.8 Installation (Serial Console)
[3] Reset Administrator Password (Keyboard/Monitor)
[4] Reset Administrator Password (Serial Console)
<Enter> Boot from hard disk
Please enter boot option and press <Enter>.
boot:
```

管理者パスワードをリセットするには、システム プロンプトで、キーボードとビデオ モニタを使用している場合は **3** と入力し、シリアル コンソール ポートを使用している場合は **4** と入力します。

コンソールにパラメータのセットが表示されます。

3. [表 2\(6 ページ\)](#) の説明に従ってパラメータを入力します。

表 2 パスワードリセットパラメータ

パラメータ	説明
Admin username	パスワードをリセットする管理者の番号を入力します。
Password	管理者の新しいパスワードを入力します。
Verify password	再度パスワードを入力します。
Save change & Reboot	保存するには y と入力します。

コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
Admin username:
[1]:admin
[2]:admin2
[3]:admin3
Enter number of admin for password recovery:1
Password:
Verify password:
Save change&reeboot? [Y/N]:
```

ACS サーバの再イメージ化

ACS サーバを再イメージ化するには、次の手順を実行します。

1. アプライアンスの電源をオンにします。
2. ACS Recovery DVD を挿入します。

コンソールに次のメッセージが表示されます。

```
Welcome to Cisco Secure ACS 5.8 Recovery
To boot from hard disk press <Enter>
Available boot options:
[1] Cisco Secure ACS 5.8 Installation (Keyboard/Monitor)
[2] Cisco Secure ACS 5.8 Installation (Serial Console)
[3] Reset Administrator Password (Keyboard/Monitor)
[4] Reset Administrator Password (Serial Console)
<Enter> Boot from hard disk
Please enter boot option and press <Enter>.
boot:
```

法令準拠

3. コンソールプロンプトで、キーボードとビデオ モニタを使用している場合は **1** と入力し、シリアル コンソール ポートを使用している場合は **2** と入力して、Enter を押します。

再イメージ化処理により既存の ADE-OS と ACS バージョンがアンインストールされ、最新バージョンがインストールされます。インストール手順については、項[セットアッププログラムの実行](#)、[2 ページ](#)を参照してください。

法令準拠

法令準拠および安全性に関する情報については、『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco Secure Access Control System](#)』を参照してください。

